

## ABP 副専攻プログラムの履修にあたって

### 1. ABP 副専攻関連科目の履修

- 1) ABP 科目、AL 科目、ABP 海外研修科目の履修には、*TOEIC*® L&R スコア 550 点以上の英語力を備えていることが求められる。
- 2) ABP 科目、AL 科目、ABP 海外研修科目で取得される単位について、ABP 副専攻修了に必要な単位としての認定を希望する場合には、所定の申請書を国際交流課事務室に提出し、ABP 副専攻履修生としての登録を行う必要がある。
- 3) ABP 修了研究の履修には、ABP 科目、AL 科目、ABP 海外研修科目として指定された副専攻関連科目の中から、下表「①修了研究開始時」に示す各科目の必要単位数を修得し、かつ、*TOEIC*® L&R スコア 600 点以上を取得していなければならない（詳細については p. 3 「ABP 修了研究について」を参照）。
- 4) ABP 副専攻、およびその関連科目の履修に関する各種書類については、ABP の web サイトからダウンロードするか、国際交流課事務室で取得すること。

### 2. 履修資格

- 1) 学部を問わず、平成 27 年度以降入学の全学生の受講を認める。ただし、1 学年の合計を 60 名程度とする。

### 3. 修了認定時期

- 1) 3 年次後期から 4 年次

### 4. 修了認定の要件

- 1) ABP 副専攻の修了認定には、ABP 科目、AL 科目、ABP 海外研修科目、ABP 修了研究として指定された副専攻対象科目の中から、下表「③修了認定時」に示す各科目の必要単位数を満たし、合計 15 単位以上を修得している必要がある。

## 5. 副専攻の修了認定

- 1) 副専攻の修了認定を希望する学生は、国際連携推進機構が指定する期日までに、副専攻認定申請書を国際交流課事務室に提出しなければならない。
- 2) 副専攻の修了認定は、国際連携推進室会議を経て国際連携推進室長が行う。

## 6. 修了見込証明

- 1) 副専攻修了見込証明書の発行を希望する学生は、副専攻修了見込証明書発行願を国際交流課事務室に提出しなければならない。
- 2) ABP 科目、AL 科目、ABP 海外研修科目、ABP 修了研究として指定された副専攻対象科目の中から、下表「②修了見込認定時」に示す各科目の必要単位数を修得した学生に、副専攻修了見込証明書を発行する。

表：修了研究開始や修了認定に際して修得すべき単位数

		①修了研究開始時	②修了見込認定時	③修了認定時
必要 単 位 数	ABP 科目	3 科目 6 単位以上	3 科目 6 単位以上	4 科目 8 単位以上
	AL 科目	1 科目 2 単位以上	2 科目 4 単位以上	2 科目 4 単位以上
	ABP 海外研修科目	1 科目 2 単位以上	1 科目 2 単位以上	1 科目 2 単位以上
	ABP 修了研究		履修開始後	1 科目 2 単位

## ABP 修了研究について

### 1. 履修要件

- 1) ABP 副専攻の履修申請書を提出し、登録が完了していること。
- 2) 上表「①修了研究開始時」の要件を満たし、かつ、*TOEIC*® L&R スコア 600 点以上を取得していること。
- 3) ABP に関連するテーマ、すなわち、「アジアの政治、経済、産業、社会、文化、教育などについて、その発展に、または、現状の記述に寄与する知見の提供」を目指す研究を行うこと。

### 2. 履修方法

- 1) 研究テーマに合った教員に指導を依頼し、承諾を得る。指導教員は、国際連携推進室が提供する「指導教員候補者リスト」から選定することを推奨するが、他の部局の教員を選定することも可能。ただし、リスト外の教員を選定する場合には、あらかじめ国際交流課事務室に連絡すること。
- 2) 「ABP 修了研究 履修届」を国際交流課事務室に提出すること。
- 3) 具体的な研究活動の進め方については、指導教員と相談の上で決定すること

### 3. 成果の発表とレポートの提出について

- 1) ABP 修了研究の成果は、ポスター発表とレポートの提出によって報告すること。
- 2) 発表時のポスター貼付スペースは、一人 1189mm×841mm (A0 判相当) とする。A1 サイズ以下の用紙を複数枚貼り出すことも可能。
- 3) レポートの分量は、A4 用紙 5~10 枚程度とする。
- 4) ポスターとレポートは、英語で作成することを原則とする。
- 5) 各学期末に 1 回ずつ発表会を開催する。レポートは発表後に提出すること。